市立加西病院　新病院建設事業

①　基本設計概要

市民説明会

日時　2026年10月3日(土)13:30～
4日(日)18:30～
17日(土)13:30～

市立加西病院　事務局　新病院建設推進室

CHAPTER 01 |

当院を取り巻く環境と課題

【環境変化】加西市の人口動態と医療需要

人口･高齢化	加西市の人口は減少傾向(8月末40,630人)。一方、高齢化率は上昇を続け2035年に約40%へ到達。
医療需要ピーク（外来）	75歳以上の需要は2030年がピーク。全体件数として、令和2年以降減少傾向にある。
医療需要ピーク（入院）	入院需要は2035年にピーク。75歳以上が約7割を占める見込み。

【課題】現病院が抱える課題

施設の老朽化	昭和49年建設(築50年以上が経過。本館が耐震基準を満たしておらず、また施設全体で設備劣化や狭隘化が深刻。
医師確保	都市部への医師偏在により、地方では不均衡や診療科不足が深刻化。

新病院の建設

「基本構想･基本計画」（令和7年1月策定）

市民の要望 ⟷ 持続可能な病院運営
- ･将来の人口動態、医療需要を想定
- ･医師確保の課題
- ･北播磨地域の中での役割(機能分化)

CHAPTER 02 |

医療提供体制と病床数

【医療機能】役割分担と地域連携

● **救急医療体制（急性期）**
初期救急の機能を担い、高齢者・在宅患者の救急も対応

● **サブアキュート機能（亜急性期）**
かかりつけ医で対応困難な緊急入院や、在宅・介護施設療養中の急変患者を受入

● **ポストアキュート機能（回復期）**
高度専門病院での治療後の継続ケア・リハビリおよび在宅復帰を支援

● **在宅医療・訪問看護**
加西市医師会と連携し後方支援強化、訪問看護ステーション機能を拡大

● **予防医療（健診）**
健診スペースを拡充し、病気の早期発見と予防医療を推進

【病床数】全136床（計画的最適化）

基本構想時（199床）→　R8.4.1（163床）
開院に向け計画的に調整

■ **急性期：52床**
初期救急（軽～中等症）受入、手術対応。高度急性期病院への搬送要否を判断

■ **回復期：80床**
40床×2病棟（1フロア2病棟）。リハビリ・在宅復帰を強力支援（不足していた回復期機能を拡充）

■ **第二種感染症病床：4床**
新興感染症に備えた個室設備（平時は一般病床として柔軟に運用）

新病院の医療提供体制

基幹病院・専門病院（高度医療）



重症救急

住み慣れた地域



自宅

市立加西病院
急性期（初期救急）と回復期



初期救急
（軽症・中等症）

サブアキュート
（在宅療養中の急な
一時悪化時の受け入れ）



かかりつけ医

市立加西病院
急性期（初期救急）と回復期

ポストアキュート
（高度治療後のリハビリ・継続ケア）



元気に在宅復帰
（日常生活へ戻る）



介護施設・高齢者住宅

CHAPTER 03 |

設計のコンセプト

基本理念 「ここは、病めるものが、心を安らげ、信じ、喜べる、休息の場である」

基本理念を具現化

設計コンセプト 「地域とつながり、安心・信頼されるやさしい病院」

すべての人が利用しやすい やさしい施設づくり

・低層（3階建て）で誰もが　使いやすいフロア構成
・患者・スタッフが効率よく　動ける部門配置

地域に信頼される 多機能型の施設づくり

・柔軟に患者を受け入れる　1フロア3病棟の病棟構成
・健診スペースの充実化

感染症に備えた 安心の施設づくり

・救急部門に新興感染症対応の発熱外来を整備
・第二種感染症病床（4床）を整備

景観との調和を図り、環境に配慮した施設づくり

・敷地北側に公園（緑地）を整備
・省エネルギー化による環境負荷低減

CHAPTER 04 |

計画概要

敷地概要データ	
所在地	兵庫県加西市豊倉町（平地へ新築移転）
敷地面積	約 47,600 ㎡
地目 / 区域	田、畑、ため池、山林、原野 / 都市計画区域内
用途地域 / 地区	用途地域指定なし / 地域拠点形成地区
建蔽率 / 容積率	60% / 200%

建物・附属施設概要データ	
病院棟	地上3階建て＋屋上階 / 鉄骨造（耐震構造） / 約 12,240 ㎡
付属棟/危険物庫	地上1階建て / 鉄骨プレハブ造 / 約 120 ㎡
駐車場台数	合計 約550台（患者用 約260台 / 職員・管理用 約290台）
その他設備	エントランス歩道、駐輪場、バス停、排水処理施設、受水槽



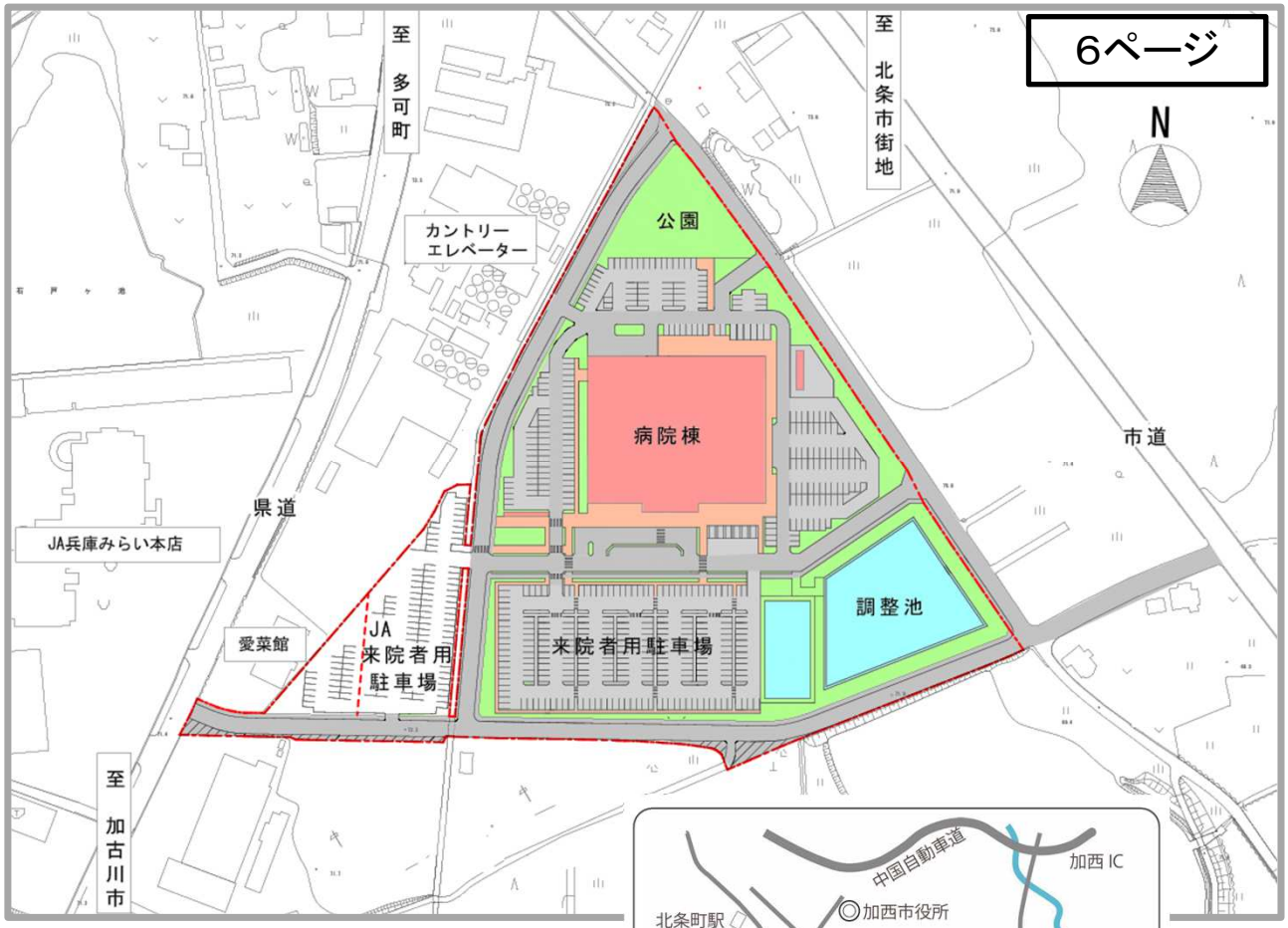
外観 イメージ図

CHAPTER 05 |

配置・動線計画

安全で円滑なアプローチを実現する動線分離

- **中央配置の病院棟**
  敷地中央に配置し、周囲に来院者・職員駐車場を効率配置
- **救急動線の完全分離**
  救急車入口は他の車両動線と分離し、北西側に専用配置
- **来院者配慮**
  西側主出入口近くの南側に駐車場配置。正面ロータリーを完備
- **地域連携・環境配慮**
  敷地北側に公園（緑地）を整備し、病院からの出入口を計画





位置図

建設予定地

加西市豊倉町　約47,600㎡

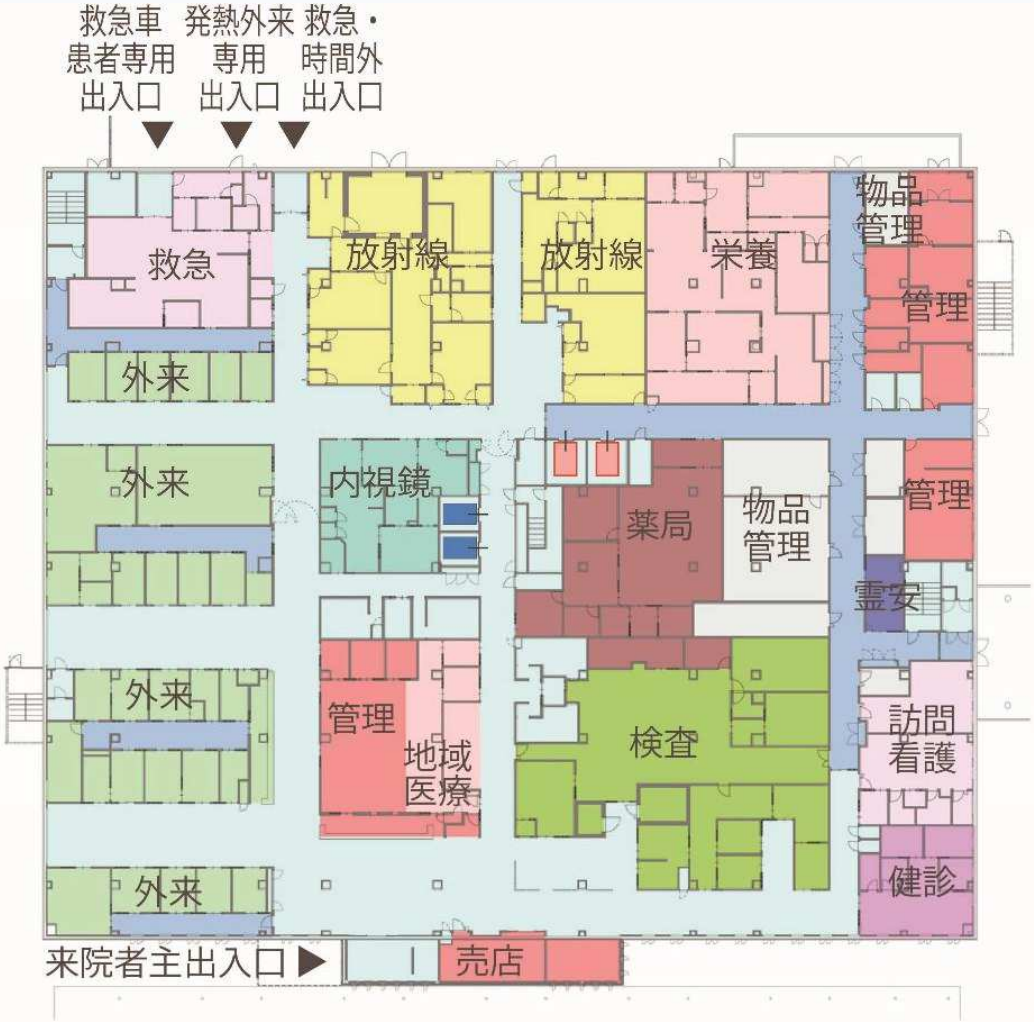
平地への移転によるアクセス性向上

メディカルタウン構想による周辺の発展性

施設計画：フロア構成　1階

【1階】 外来・救急・検査エリア

- 総合受付、外来診療、検査、放射線科を1フロアに集約
- 救急車がアプローチしやすい配置、感染症の拡大を防ぐ専用出入口、発熱外来の設置
- 健診スペースを拡充



CHAPTER 06 |

施設計画：フロア構成　2階

【2階】 病棟エリア

●全136床を1フロアに集約
●スタッフステーションを各病棟の中央部に配置し、看護師の移動負担を軽減し、患者様への目配りが
　届きやすいレイアウト
● 4床室を中心に、個室（24室）をバランスよく配置



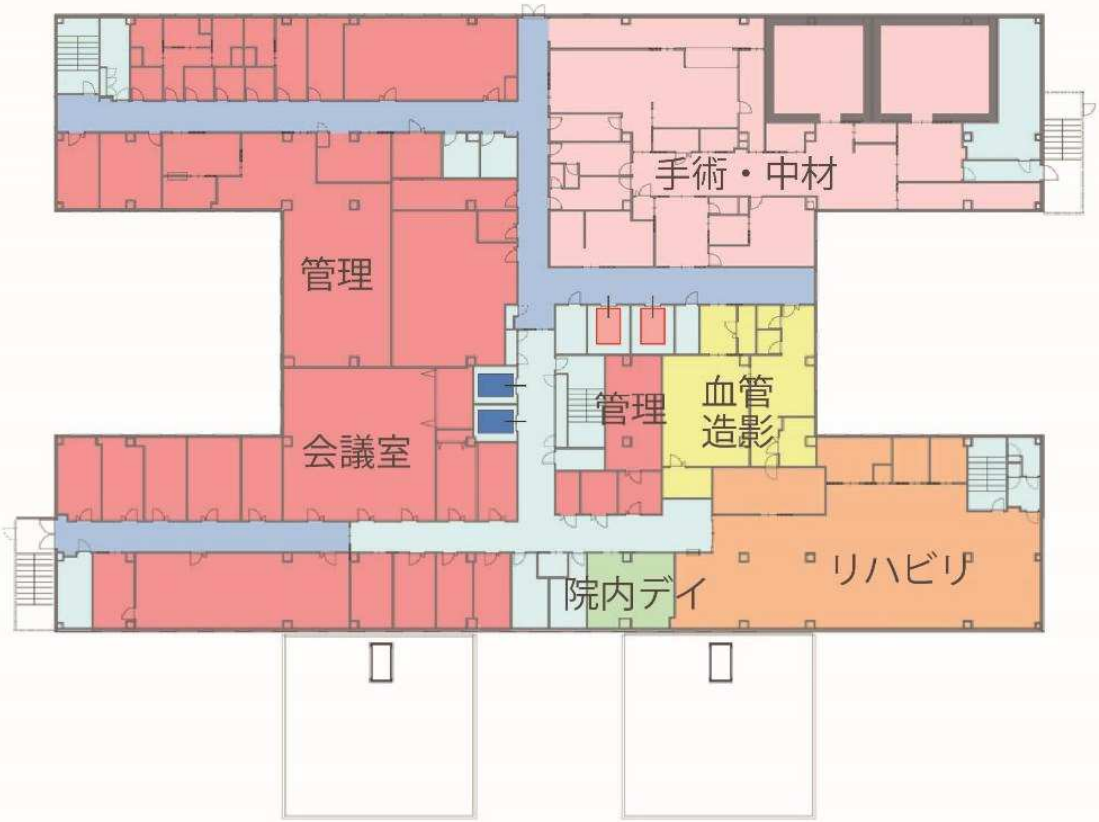
施設計画：フロア構成　3階

【3階】 手術･リハビリ･管理エリア

●手術室2室を整備。手術室、血管造影室はエレベーター近くに配置し緊急搬送動線を短縮

● リハビリ部門は見晴らしが良く開放感のある南側エリアに配置

● 市民向けセミナー等でも活用できる会議室および病院管理部門を配置



CHAPTER 07 |

概算事業費

概算総事業費：約 186.9 億円

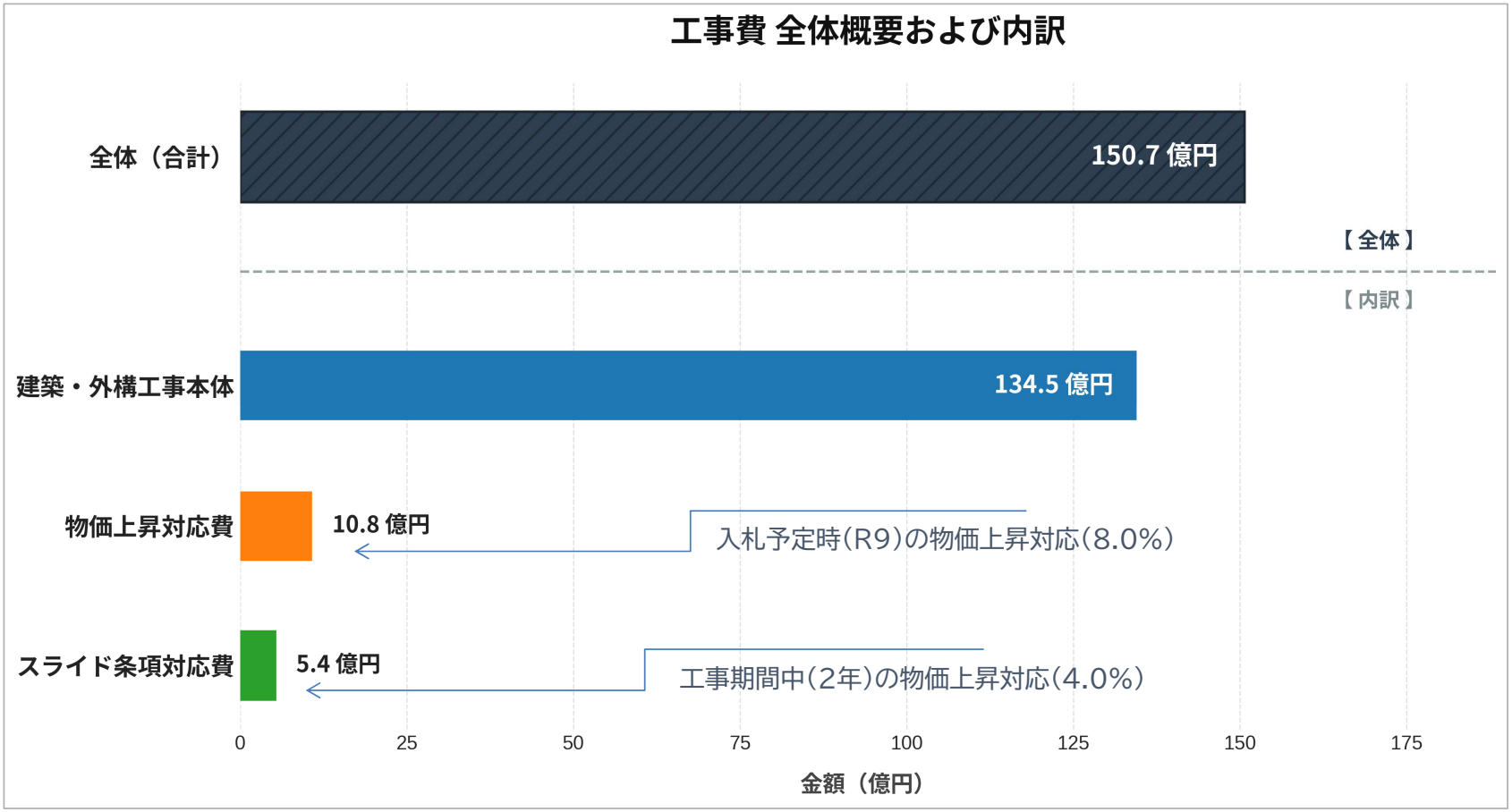
区分（費目）	概算金額	主な内容
土地・造成工事費	14.6 億円	用地買収費、用地測量費、造成工事設計・監理費、造成工事費 等
建築工事設計監理費	3.6 億円	建築工事基本設計・実施設計費、工事監理費 等
建築工事費	150.7 億円	病院棟・付属棟建築工事費、外構工事費 等
機器等整備費	16.5 億円	医療機器備品整備費、情報システム（電子カルテ等）整備費
その他の経費	1.5 億円	基本構想・計画業務委託費、開院支援業務委託費、移転費 等

※今後の建設費等の変動により増加する可能性があります。

CHAPTER 08 |

建築工事費の内訳・物価変動リスク対応

2026.8 基本設計時に算出



延べ床面積当たり ㎡単価
（建築＋外構）

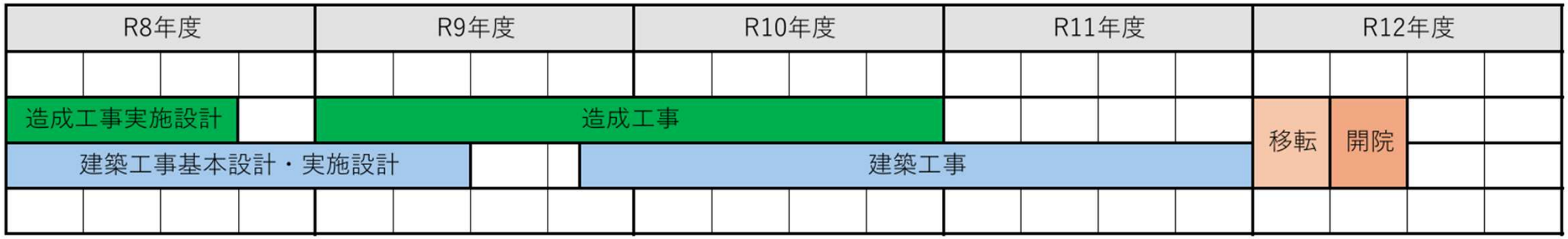
123.0 万円/㎡

【継続的な取組み】 今後の「実施設計」において、仕様の見直し等を実施し、可能な限り事業費の圧縮に努めます。

CHAPTER 09 |

事業スケジュール

現在



②　収支計画等について

市立加西病院　事務局　総務課

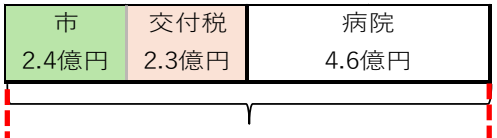
１．総事業費比較（基本計画との比較）

14ページ

	基本設計時（R8.8）	基本計画時（R7.1）	差	主な増減理由
①用地取得･造成工事費	**14.6億円**	8.6億円	6億円	予定地の物件補償追加 造成工事の地盤改良費増
②建築工事設計監理費関係	**3.6億円**	4.7億円	▲1.1億円	
③建築工事	**150.7億円**	99.4億円	51.3億円	建築資材、人件費等の高騰
④機器等整備費	**16.5億円**	15.9億円	0.6億円	
⑤その他経費	**1.5億円**	1.6億円	▲0.1億円	
新病院総事業費	**186.9億円**	130.2億円	56.7億円	
利息	**92億円**	70億円	22億円	
事業費＋企業債利息	**278.9億円**	**200.2億円**	**78.7億円**	

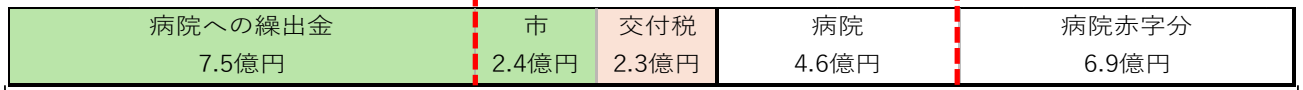
２．新病院開院後の市と病院の負担

①新病院建設にかかる費用負担 （約9.3億円／年）



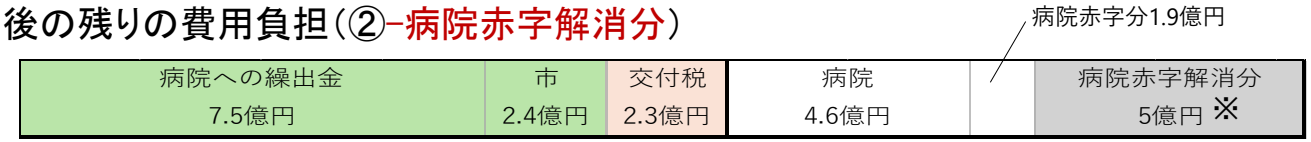
年平均9.3億円
（279億円÷30年）

②新病院開院後の費用負担（①+従来の繰出金+病院赤字分）
（約23.7億円／年）



年平均23.7億円

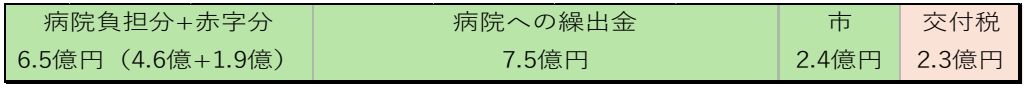
③病院の経営改善（5億円）した後の残りの費用負担（②−病院赤字解消分）



年平均18.7億円

※令和12年度開院時点での改善額

④市の実質的な費用負担（③の病院負担分（新病院建設にかかる負担分と赤字分を負担）

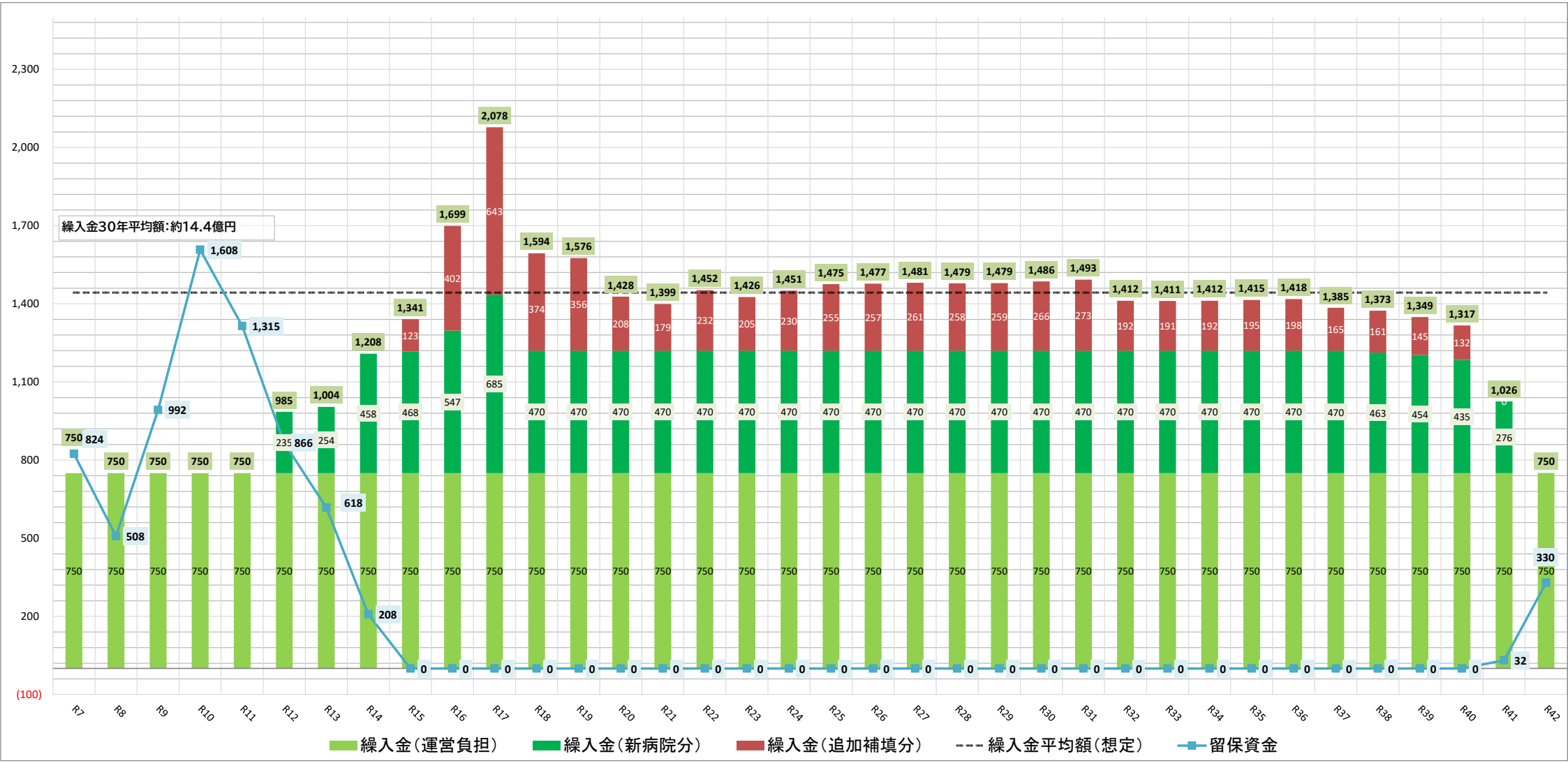


年平均16.4億円（現状の繰出額より8.9億円増加）

新病院開院後も収益の確保・費用減を図り経営の健全化を目指します

3．収支計画

（単位：百万円）


繰入金30年平均額：約14.4億円
2,300
2,000
1,700
1,400
1,100
800
500
200
(100)
R7 R8 R9 R10 R11 R12 R13 R14 R15 R16 R17 R18 R19 R20 R21 R22 R23 R24 R25 R26 R27 R28 R29 R30 R31 R32 R33 R34 R35 R36 R37 R38 R39 R40 R41 R42
繰入金（運営負担）
繰入金（新病院分）
繰入金（追加補填分）
繰入金平均額（想定）
留保資金